



◆区公民館の耐震対策
問 区公民館の耐震診断とその対策はどんな状況か（小野）
答 診断は一力所のみ。対策は補助金申請により他に優先して進めたい。

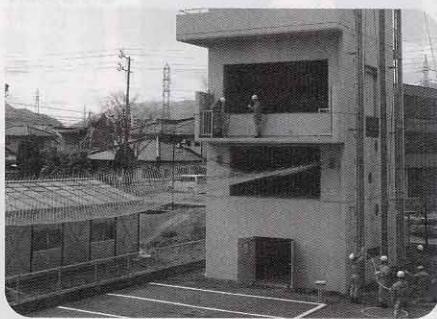
◆広告ビジネスで財源確保をして進めたい。



市は現在、市営大門駐車場と市民交流センター3階と上空通路で結ぶよう計画

◆住民自治のあり方と展望
問 住民自治基本条例は今後、どのような方針で制定を目指すのか。また、地域自治を高めるため、地区に一定の予算と権限を与える分権型を導入する考えはないか（小野）
答 条例は実効性のある仕組みづくりを目指すためにも、学識経験者を交えた検討委員会を設置して幅広い視点で研究したい。分権型は実質的な活動段階ではなく、まずは受け皿となる組織の機能強化を考えたい。

◆消防団員について
問 現況と定数見直しの考え方（石井）
答 方は



県で広域消防の再編が計画される中 市内の消防体制の充実を

◆市民環境大学の設置を提案して
環境意識の向上対策として
設置の考えは（今井）



◆南（柏原）地区の消防体制は検討要ありと位置付けられており、継続して働きかける。ハシゴ車等は隣接署から30分以上所要となることから3台配備を4台として設置に向け働きかけてゆく。

◆県下広域消防2ブロック内での消防機能充実は

◆環境意識向上への対策はあるか（今井）

問 広報誌やホームページ、窓口封筒へ有料広告の掲載は産業や商業の応援もでき、市の財源になるがどうか（山口）
答 現在検討中。窓口封筒については20年度より実施予定。

◆気象観測機器増強へ
問 広報誌やホームページ、窓口封筒へ有料広告の掲載は産業や商業の応援もでき、市の財源になるがどうか（山口）
答 現在検討中。窓口封筒については20年度より実施予定。

◆団員確保が厳しく、46名の欠員がある。地域の実情と、常備消防を勘案して、消防団等と定数を協議していく。

◆「ゴミの堆肥化と分別生ゴミの堆肥化の実施時期はいつ頃か。また、広域での分別の統一は

◆給食残渣の堆肥化を検証しながら検討中。広域での分別の統一を研究したい。（石井）



生ゴミ堆肥化の推進を